

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		同時刻に指導員の数の受入なので時間帯や支援の組み合わせ、こどもの特性に合わせてスペースを作っている。	
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃や片づけを行い、環境の保全に努めている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開する。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は現在行っていない。今後必要に応じて検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		受付シートに記入してもらった後、	

支 援 の 提 供				聞き取りにてアセスメントを行い、体験・支援計画作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		日々の振り返りの中で家族の困りごとの聞き取りや学校等の地域についての聞き取りや進路等のアドバイス、調整し、必要に応じて支援計画にも盛り込んでいるが、支援計画で項目別には設定していない。今後、必要に応じて項目として入れていくことも検討する。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿って日々の状況に合わせて支援の内容を考えて提供している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児発管と担当指導員、必要に応じて他の指導員と話し合いの場をもち、方向性を確認している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々振り返り等で近々の状況を確認し、必要と思われるプログラムを盛り込んでいっている。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別療育であるが、必要と思われる場合は、他の指	

				<p>導員や他の児童も一緒に巻き込んでコミュニケーションがとれるよう支援を行ったり、きらり広場での小集団活動の参加も促している。支援計画にも盛り込んでいる。</p>	
⑰	<p>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している</p>	○		<p>その都度、ミーティングを行っている。</p>	
⑱	<p>支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している</p>	○		<p>職員間では十分な話し合いが行われている。また、児発管が時短勤務や打ち合わせなどで不在の時の場合には報告をもらっている。</p>	
⑲	<p>日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている</p>	○			
⑳	<p>定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している</p>	○		<p>日々の振り返りに加え、定期的にモニタリング（保護者面談）で支援計画について見直しを行っている。</p>	
関係機関や保護者との連携	<p>⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している</p>	○			<p>サービス担当者会議がなく、参加の機会がない。体制的には担当者もしくは児発管が参加できるようにしている。</p>
	<p>㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている</p>		○		<p>現在連携は取れていないが、今後必要と思われる場合には連携をとれるようにしていきたい。</p>
	<p>㉒ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</p>				<p>該当者なし</p>

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者なし
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	連携の姿勢はあるが実施できていない。家族や相談支援機関とうまく連携して実施していきたい。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	連携の姿勢はあるが実施できていない。家族や相談支援機関とうまく連携して実施していきたい。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	連携の姿勢はあるが実施できていない。家族や相談支援機関とうまく連携して実施していきたい。
㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	交流する機会がないので、職員に見学に行ってもらうなど交流と理解を深め、一緒にできる方法があるか探っていく。	

	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	参加できていないので、参加していきたい。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の振り返りの中で共通理解を持っている。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	家族へのアドバイスや相談に乗ることはあるが家族支援プログラムとして明確には行っていないため、今後勉強していきたい。
保 護	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明している。

者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時やモニタリング後に作成した支援計画について説明し同意を得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の振り返りやモニタリング時、必要に応じて時間を取って保護者の相談に応じている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在父母の会は行っていないが、進路のことなど話せる交流の場が欲しいという要望もあり、今後茶話会など気軽に話せる場も考えていきたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応している。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報は発行していないが、ブログで活動内容や行事内容など保護者に向けて発信はしている。しかし周知されておらず、今後は事業所内にも情報を掲示し周知していきたい。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵のかかる書庫にて管理している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的ツール等活用している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		○		地域の方が参加できるようなイベントは実施していないが、

					問い合わせがあれば考えていきたい。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを準備、いろいろな事案に対する訓練も月に1回程度で行っている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害に対する定期的な訓練を行っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントシートや面談等にて確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者からの情報に従っているため、今後指示書の提出をお願いしていきたい。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ミーティングなどでその都度話し合いは行っているが、共通の様式がないため、今後は作成し周知徹底していきたい。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		1年に1回以上研修を行っている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校

保護者等数（児童数） 5（6） 回収数 5 割合

100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4			1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	1	2	併行通園しているので特に希望していない。	個別の学習支援のため、現在交流の場が持っていない。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	2	1		ペアレントトレーニングを受けてみたい。	ペアレントトレーニングのプログラムがないため、要望があれば考えていきたい。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	2	1		現在父母の会など保護者同士の支援は行われていないが、要望があれば今後茶話会など気軽に話せる場を考えていきたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	1				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか		1	1	2		ブログにはあげているが周知されていないため事業所内にも掲示をして知っていただく。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4			1		
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	2	1	1		訓練等行っているが周知されていないため事業所内に掲示して知っていただく。マニュアルも見えるところに掲示していく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	1	1	2		訓練は月一度行っているが、周知されておらず、実施内容など事業所内にも掲示して知っていただく。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5					

満足度	②	事業所の支援に満足しているか	5					
-----	---	----------------	---	--	--	--	--	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。